

# 令和5年度第2回常磐公園の緑を考える集い 報告書

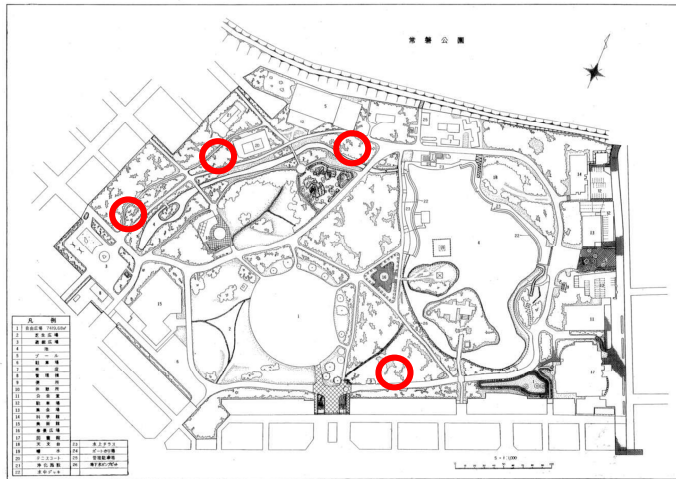
## 1. 自然更新ゾーン実生の移植検討

現在自然更新ゾーンにある実生の移植場所について検討致しました。

移植場所としては周辺の樹木に抑圧されないような場所かつ、日当たりが良い場所を選定いたしました。実生4本の内1本については次回の集いの中で皆様と一緒に移植作業を予定しておりますが、内3本については実生が大きく成長しており人力で移植するのは困難なことから、次年度以降に工事で移植作業を予定しております。



実生の移植場所の検討



○移植予定位置図

## 2. ブッシュゾーンでカンタンの観察

ブッシュゾーンでカンタンの鳴き声が聞けないか観察を行いました。

残念ながらカンタンらしい鳴き声を聞くことはできませんでしたが、塩田先生がカンタンの鳴き声を録音したカセットテープを持ってきていただいたので、それをみなさんで聞きました。カンタンは他の虫に比べても非常に警戒心が強いので、近くで鳴き声を聞くのは難しいらしいですが、カンタンの生息環境としては良い状況であるとのことなので、今後ブッシュゾーンでカンタンの鳴き声が聞けるチャンスはきっとあるかもしれません。もし、常磐公園でカンタンの鳴き声を聞いたという方がいましたら、ぜひ教えて下さい。



カンタンの観察

### 3. 日本庭園ゾーンの周辺の実生の観察

集いの参加者の武藤さんより、日本庭園ゾーン周辺で発見した実生についてご意見を頂いたので、そのことについて皆様と意見交換をいたしました。

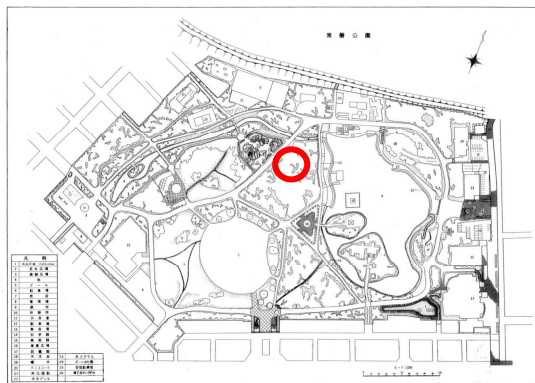
武藤さん曰く、草刈り作業前に日本庭園ゾーン近くの場所で(下記位置図参照)実生を発見したとのことでした。現在は草刈り作業により、その実生は無くなってましたが、今後はそういう実生があった際には部分的に草刈りを抑制し、実生の成長を促してもよいのではないかとのご意見をいただきました。

皆様と議論した結果、日当たりが良く、将来的に周辺の樹木と競合しない場所かつ、公園施設や民地等に影響を及ぼさない場所で発生した実生についてはテープ等で目印をつけた上で部分的に草刈りを抑制し、実生の成長を促すことと致しました。

もし、公園内で条件にあった実生を発見した場合はぜひ教えて下さい。



実生の観察



○ 実生発見位置図

### 4. 昨年移植した実生の観察

昨年移植したハルニレの実生を皆様で観察いたしました。

前回観察したときとは様子が違い、全体的に枝葉が枯れている様子だったので驚きましたが、枝や幹自体は枯れていなかったため、樹木が枯死している状態ではありませんでした。枝葉が枯れた原因は不明でしたが、今後も様子を見ながら原因を探っていきたいと思います。

また、この実生にも以前名付けた「カンタロウ」のように新たに名前を名付けることといたしました。皆様と相談した結果「こはる」と名付けることと致しました。今後も「こはる」については集いの中で様子を見守っていきたいと思います。



昨年移植した実生の観察